

1. 研究の目的

東京一極集中や少子高齢化問題により地方の人口や活動が衰退していくと予想されている。これらを補うための方法として地方への移住者の増加方法を考えることは大変重要である。

そこで、実際に移住をした方の話を聞きその場所の魅力・課題を知るとともに新規移住者を増やす条件に付いて考察を行う。

2. 調査対象

長野県松本市・安曇野市

松本市・安曇野市は私の地元であり移住者が増えてほしいと思い選んだ。都市部からのアクセスも良く安曇野市には移住者が求める自然や不便さがあり松本市にはショッピングモールや映画館など都市部分もあり移住がしやすい場所と考える。

東京近郊の人口減少している街も調査をする。
都市部から遠方と近郊の街の二つを比較して調査をする。

3. 移住者を増やす取り組み

安曇野市では売中古住宅の購入や、賃貸などを登録された登録業者を介して購入することができる空き家バンク制度がある。購入した住宅は市の改修補助対象になるなど、補助が手厚く市も空き家問題を解決できる相互利益の関係がある。一泊二日の移住体験会があり市内をバスで巡り移住者の住宅や気候を実際に感じてもらう。お試し住宅の貸し出しを行い滞在中に住居を決めてもらう取り組みも行われている。

4. 今後の取り組み

実際に移住した方にインタビュー調査を行い移住要因の洗い出しを行う。